

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キンダールミナス		
○保護者評価実施期間	2026年1月19日		～ 2026年2月6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2026年1月19日		～ 2026年2月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士の資格及び教員免許を持ち、さらに全員が乳幼児教育や小学生の教育に携わった経験豊富な職員であることから、一人ひとりの育ちや課題に合わせたきめ細やかな療育ができること。	個別の療育時間を大切にしながらも、最終的には集団での生活にも対応できるよう、無理なく段階的に小集団での療育を進めている。	一人ひとりの成長を職員全員が常に把握し、いつ誰が対応しても同じレベルの療育の提供ができるように、職員間での情報共有は密に行い、どこにも負けない質の高い療育を提供できるよう努めている。
2	法人母体がこども園を営んでいることから、乳幼児教育・保育についての知識・経験が深い職員が多く、子どもの伸ばしたい力に対してどのようなアプローチが有効か等療育に大きく活かすことができているところ。	子どもを見る力、診る力、観る力が養われている職員が多いことから、その日その時の子どもの様子、子どもの思いを読み取り、療育プログラムが単調にならないよう、一人ひとりの状況に合わせ工夫した療育を進めている。	職員全員で一人ひとりの成長を評価し、支援計画の見直しを行いながら、今後もより効果的な支援に向けて療育内容を充実させていく。
3	送迎を行っていること。	各ご家庭の要望にできるだけ応えられるよう、また子どもたちの負担にならないよう送迎の時間の調整、配車割を行っている。また、何より子どもたちの安全を優先し、車中に子どもだけとなる時間が無いよう、職員を配置している。	開所から間もなく一年が経過しようとしており、道路の混雑具合や天気による時間のかかり方等の経験・知識を得ることができたことから、今後、新しい地域や新しい児童の送迎等を行う場合にも、無駄の無い送迎計画を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用のキャンセルや休みが出た場合に利用人数が減ってしまう。	契約の際に、お休みする場合には事前に連絡をいただくようご案内をしているが、保護者の方には定期的に改めて発信していく必要がある。	急な利用のキャンセルや体調不良による休みに対応できるよう、曜日振替の利用希望のご家庭やキャンセル待ちのご家庭等の把握を行い、都度連絡がとれるよう事前にご家庭にも発信しておく。
2	送迎を行っているが故に、保護者の方が施設に足を運ぶ機会が少なくなってしまうがちである。また、送迎時も時間に追われてしまい、保護者の方とゆっくりコミュニケーションを取る機会が少なくなってしまうことが多い。	コドモンやインスタグラムでも日々の療育についての発信も行っているが、保護者の方からこちらへの発信が苦手な方もいる。	発信が苦手な保護者へは、個別にこまめに声がけを行い、保護者支援も行うことや、子どもの成長についての発信を今後も継続的に行っていく。
3			